

## ◆鎌倉市議会議会全員協議会新庁舎資料

### 新庁舎等の整備について

#### ■趣旨

「市民の安全安心のために災害に強いまちをつくる」  
—この思想が事業思想の根幹にあります。

大規模災害が発生した際にも行政の業務を継続できるよう、防災機能を備えた新たな拠点を深沢エリアに整備します。この拠点は、災害時の中核となるだけでなく、日常においても市民の活動や交流の場として活用できる機能を備えます。一方で、現在地については、これまでと同様に窓口サービスの機能を維持し、市政の意思を形づくる機能（議会・政策判断等）を引き続き担う拠点として活用していきます。

「役割を分けて、強くする。」

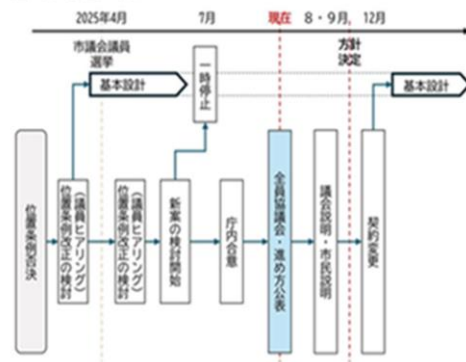
鎌倉市は、「役割の再編集」という考え方のもとで新庁舎等の整備について新たな可能性を提案します。

#### ■進め方

これまで検討を進めてきた計画の一部見直しを含め、本庁舎の場所は変えない新案の検討を進めます。

※位置案例：鎌倉市役所の位置を定める案例

#### ■スケジュール



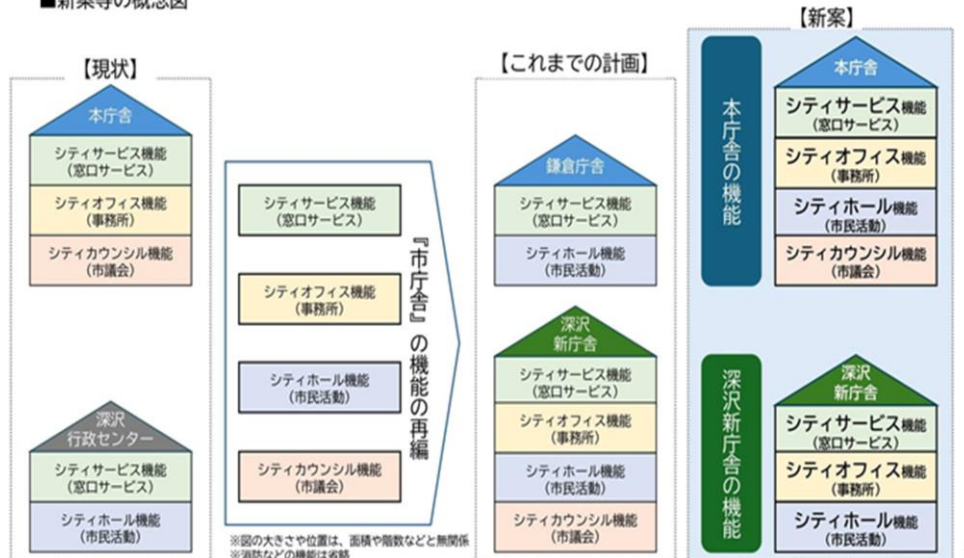
#### ■今後

市民への説明を行いつつ、新案を具体化し、新案による新庁舎等の整備に取り組む方針を決定します。

令和7年(2025年)7月23日(水)  
議会全員協議会資料

方針の決定は12月議会前までにするとのこと↑

#### ■新案等の概念図



※図の大きさや位置は、面積や階数などと無関係  
※消防などの機能は省略

10月26日が鎌倉市長選挙の投票日です。市長ご自身の5期目の出馬については名言されていませんが、自分が居るか居ないかわからないのに、残り任期が少ない中で方針を決めるのは非常に無責任だと考えます。



我人に媚びず  
富貴を望まず

## ◆鎌倉市議会議員長嶋竜弘

第191号5期目5号(8月号)(完全無所属)

自転車整備士有資格者

メール:kamakurasi@gmail.com

住所:極楽寺2-6-10-201

西友、道の駅などで勤務

稲小-成中-茅ヶ崎高校-和光大学



長嶋HP

## ◆厚生労働省がひた隠す死亡者数急増の実態

・令和2日本の年死亡者数137万2755人 → **8338人減少** (前年比)

**令和2年にコロナウイルス登場→ワクチンは無かったが死亡者数減少**

・令和3年死亡者数143万9856人 → **6万7101人増** (令和2年比)

・令和4年死亡者数156万9050人 → **19万6295人増** (令和2年比)

・令和5年死亡者数157万6016人 → **20万3261人増** (令和2年比)

・令和6年死亡者数160万5298人 → **23万2543人増** (令和2年比)

・**令和3年～令和6年死亡者増加数合計 → 70万7538人増 (2年比)**

**令和3年から死亡者数が急増したのは何故?**

○過去5年間増加死亡者数年平均 → **1万8千人増** (高齢化が主要因?)

138万人(元年)、136万人(平成30年)、134万人(平成29年)130万人(平成28年)129万人(平成27年) → **5年間死亡者数合計9万人増**

○新型コロナ感染者の死亡者13万2千人(95.7%が65歳以上)

**令和3年～6年で70万7538人も増加、何故?**

## ◆鎌倉市救急搬送数異常増加(全て令和2年比)

月	急病搬送数			死亡者数		
	令和2年	令和7年	令和2年比	令和2年	令和7年	令和2年比
1	614	694	113.03%	206	261	126.70%
2	495	621	125.45%	149	194	130.20%
3	422	640	151.66%	165	178	107.88%
4	382	597	156.28%	141	188	133.33%
5	399	589	147.62%	147	171	116.33%
6	437	602	137.76%	165	165	100%
計	2749	3743	136.16%	973	1157	118.91%

令和4年急病救急搬送数7368(130.31%)

令和5年急病救急搬送数7741(136.91%)

令和6年急病救急搬送数7888(139.51%)

令和3年以降の急病救急搬送数の伸びは異常。原因調査が必要 → 市長やる気無し

## ◆本庁舎深沢移転ではなく「庁舎2拠点化」へ

鎌倉市議会議会全員協議会長嶋質疑内容(2025/07/23 開催)

### ※意見

今回ご提案の方針の中身はまた何時もの場当たりの対応で正直呆れます。ごみ問題と同様に頓挫してコロコロ変わる松尾市長の市政運営の真骨頂。市長の自分の政治家としてに生き残りの為の提案。市民の為でも街の為でもなんでも無い。本庁舎移転の提案より酷い中身だと考えます。

大規模災害時の対応が主体と言うなら深沢は不適切な場所である。本庁舎移転はその場所が敵地なのかどうであるか？の議論ですが、今回の提案はその場所の話に加えて、必要性が疑われる内容が加わった中身であり、到底容認できるものではありません。

### ※質疑

① この方針は現段階では市長の政治的政策提案という位置付けか？

- 行政としての方針決定である。
- 今後、市民説明、議会説明をして12月議会前までに方針決定。

② このタイミングで提案を出したのは市長選挙に出て5期目やる決断をされた？

- ・言えないのだったら任期残り3ヶ月の今の段階で提案したらダメでは？
- ・市長選挙を経て新しい市長が提案して進める事ができる話しでは？
- ・出ないと言うならいなくなる人が言って良い話しではないはず。
- 市長は答えなかった

② 移転の為の条例提出は今後もう行わないと言う事によるのか？

- おこなわない。

④ 行政計画としての位置付けはどうなるのか？

- ・これらのお金と時間をかけてやって事はどうなるのか？
- ・鎌倉市本庁舎整備方針(平成28年度(2016年度))
- ・鎌倉市公的不動産利活用推進方針(平成29年度(2017年度))
- ・鎌倉市本庁舎等整備基本構想(令和元年度(2019年度))
- ・鎌倉市新庁舎等整備基本計画(令和4年度(2022年度))
- 全部無いものという認識しかない様子であった。
- ・基本設計はどうするのか？
- 内容を変更してそのまま進めると答弁。
- ・条例否決後に使った予算はおただったのではないか？(審議会、人件費、説明会、ワークショップ、ワンデープレーパークなど)
- 2年半やった事は無駄ではなかった。
- ・裁判をやっているが市側が不利になる
- 裁判には影響はない。

⑤ 今回の変更する内容は地方自治法上の位置付けはどうなるのか？

→全く考えていなかった様子で答弁。

⑥ 面積が鎌倉市程度の39km<sup>2</sup>平米程度の自治体でこういったやり方で庁舎を設けている自治体の事例はあるのか？

→事例は調べていない。

⑦ 物価高騰のおり財政的担保が得られるのか？以前と状況が違うのでは？

→以前のままの金額しか提示されなかった(深沢170億円・御成136億円)

⑨ 深沢庁舎の必要性が全くわかりませんが？

→大規模災害時職員が災害対応と執務が継続して出来るようにする為。

⑩ まず市民へ謝罪・説明が必要。残り任期でどうやって内容説明するのか？  
・2018年5月1日号で「鎌倉市役所は深沢に移転します」と掲載した事は「嘘だった」と言って謝罪文を広報に掲載するべきでは？

→きちんと謝罪するのかしないのか？不明な答弁。

2018 (平成30年) 広報 **かまくら** No.1315 5.1号

毎月1日・15日発行 (1月・5月・8月の15日はありません)

▲人口:172,194人  
前月比+217人・前年同月比-158人  
▲世帯数:73,939世帯  
前月比+293世帯・前年同月比+613世帯

発行:鎌倉市 編集:広報広聴課  
鎌倉市役所:〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号  
☎0467(23)3000(代表) ☎0467(23)8700

災害に強いまちを目指して  
本庁舎は **深沢地域  
整備事業用地に** 移転します

↑ 2018/05/01 広報かまくら この時点で議会での議決は行われていなかった。  
決まっていない事を広報を使い「嘘」を言って7年経って結局できなかった。



長嶋質疑動画  
(議会全員協議会  
2025/07/23/)